

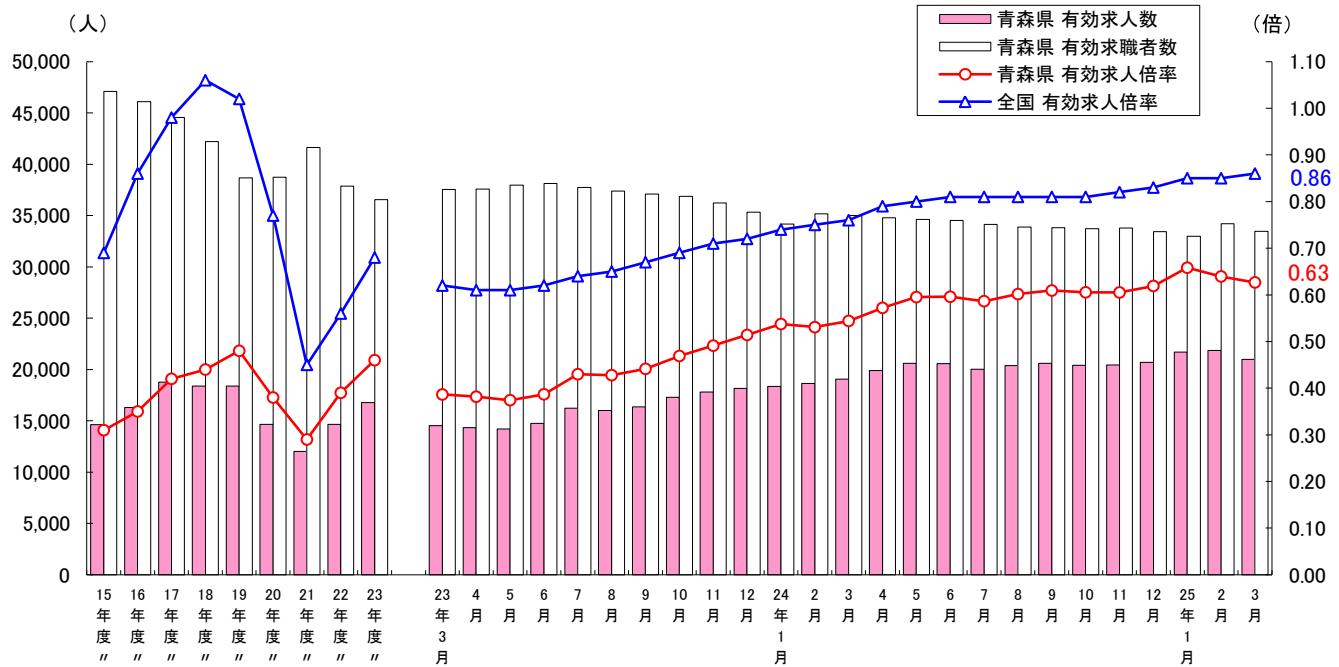
# 最近の雇用情勢について

(平成25年3月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

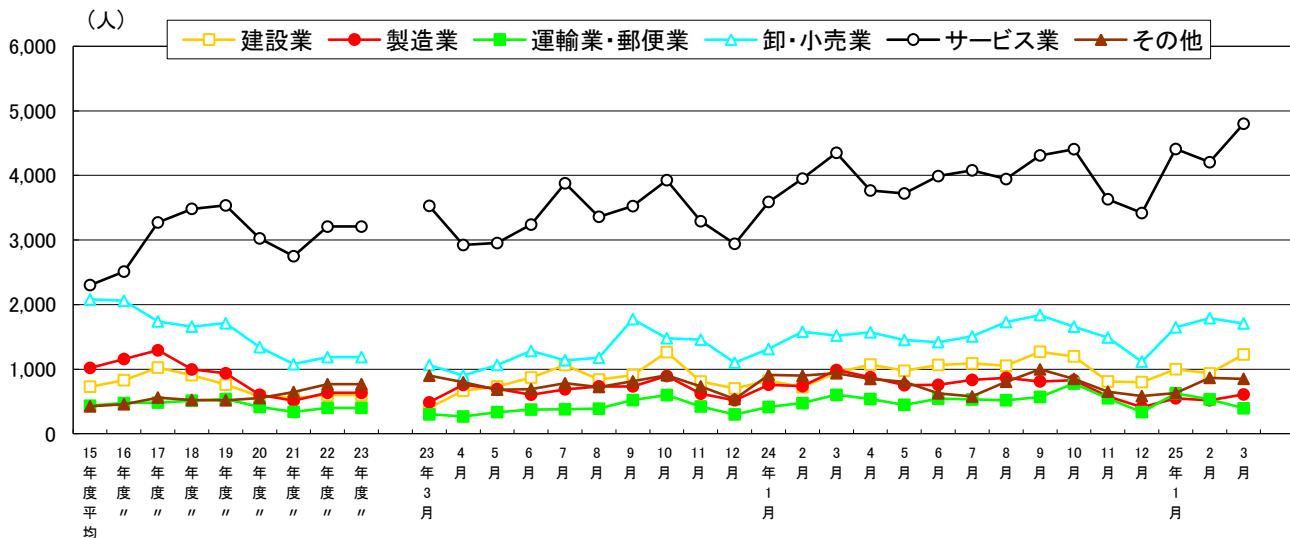
3月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ4.1%減少の20,978人、有効求職者数(同)は2.1%減少の33,471人で、有効求人倍率(同)は前月を0.01ポイント下回る0.63倍となった。



## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人(原数値)は前年同月比2.7%(250人)増加、前月比8.4%(745人)増加の9,589人。

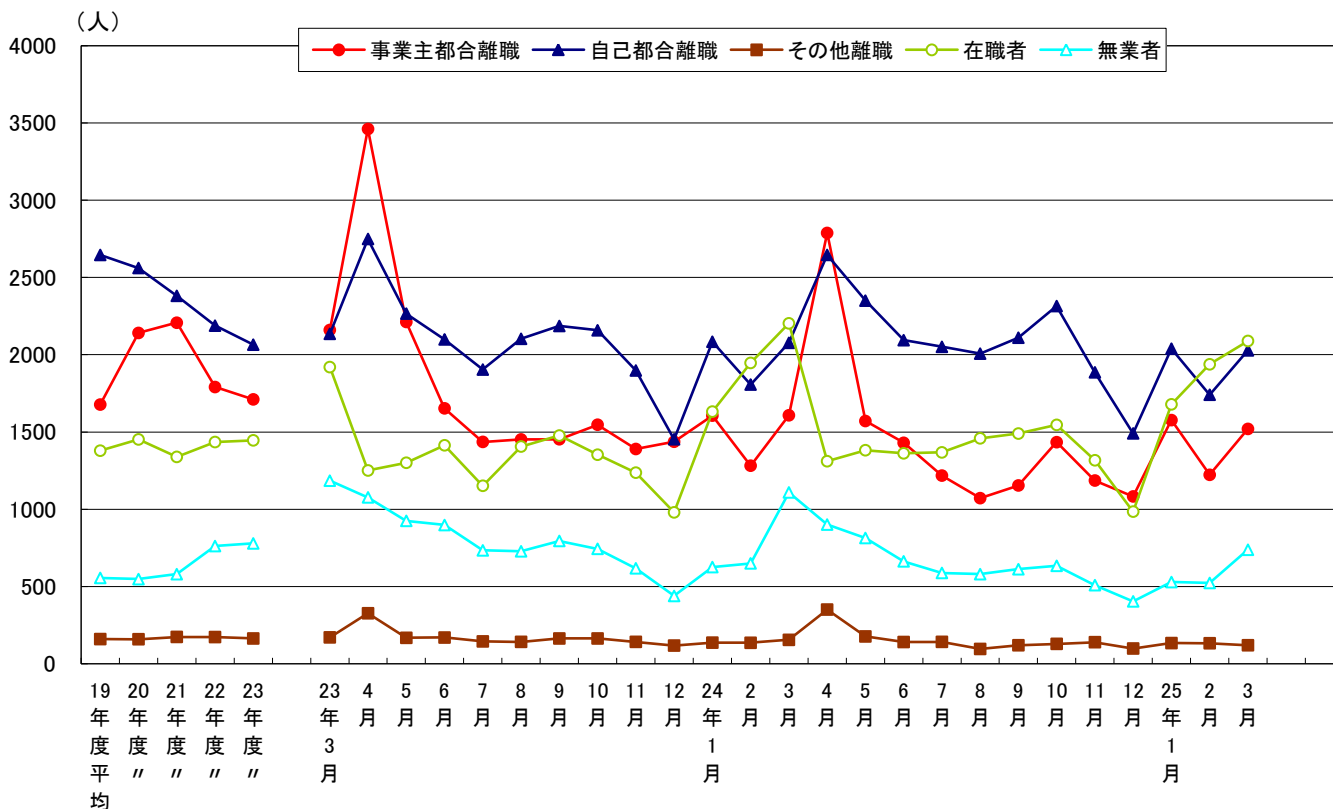
産業別に前年同月と比較すると、建設業、卸売業・小売業、不動産業、物品賃貸業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業で増加し、製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融・保険業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、複合サービス事業、公務・その他等では減少となった。製造業では、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、窯業・土石製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

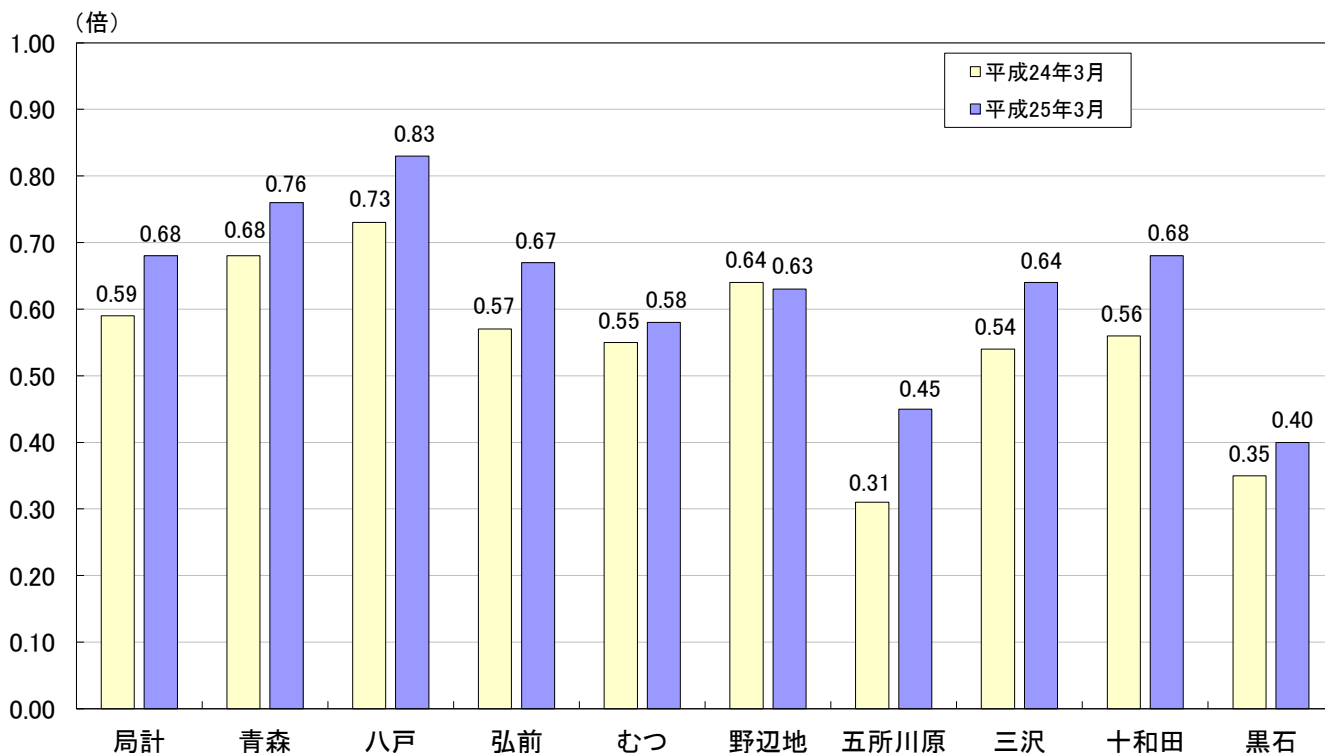
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数は、前年同月比9.2% (657人)減少、前月比16.9% (937人) 増加の6,495人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は5.2% (114人)減少し、離職者は4.5% (172人) の減少、無業者も 33.5% (371人) の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は5.5% (88人) の減少、自己都合も2.4% (49人) の減少となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

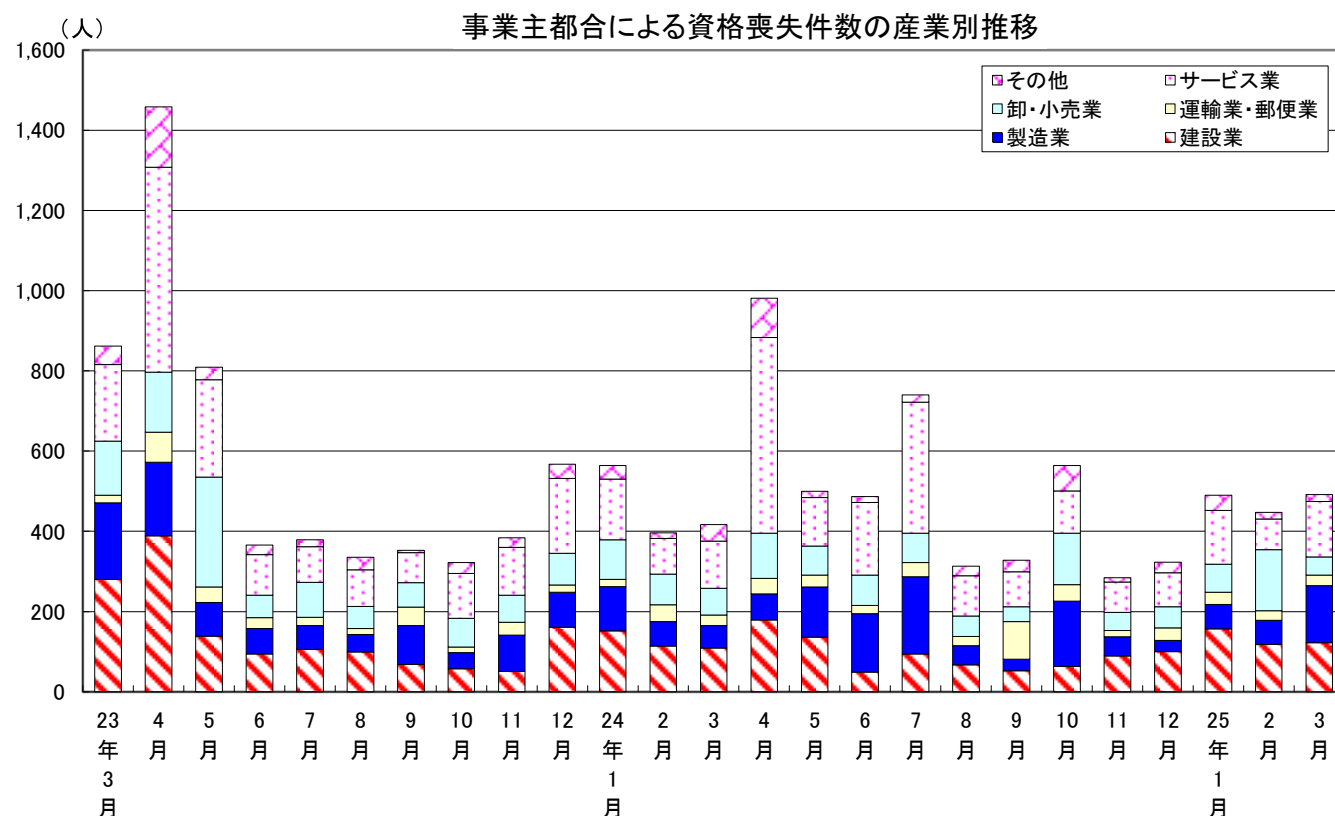
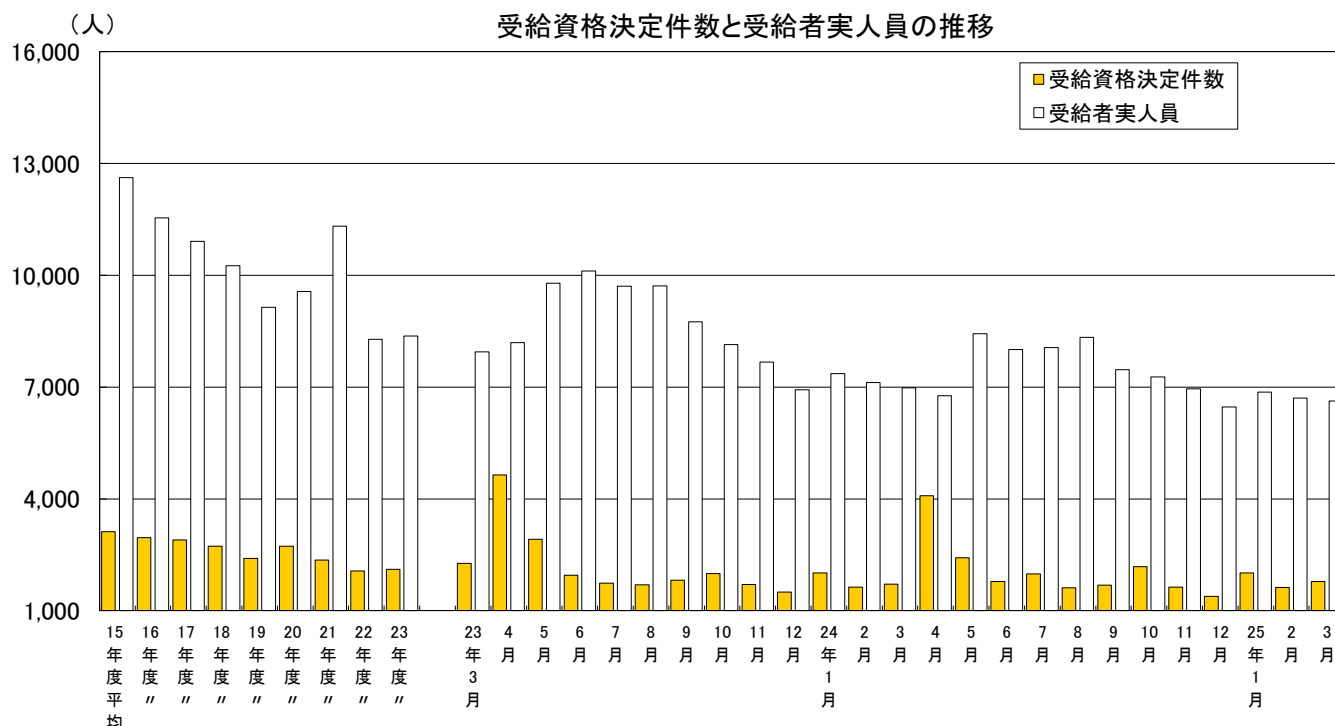
3月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.68倍となり、前年同月を0.09ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



## V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比5.0%（351人）減少、前月比では1.2%（80人）減少の6,626人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.3%（73件）増加、前月比では9.8%（159件）増加の1,783件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比18.0%（75人）増加、前月比10.1%（45人）増加の492人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。  
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。